



トゥクトゥク[津野町]



後免駅[南国市]



花ニラ[津野町]



四方竹[南国市]



コスモス[越知町]



しまんトロッコ[四万十町]



文旦 [越知町]



鮎の塩焼き [四万十町]

外商でがんばる/ 高知の経済強化

～ 平成30年度 外商件数**3,000**件を目指して ～



◀◀◀◀ 平成29年度 ▶▶▶▶

政策研究共同事業 企画書

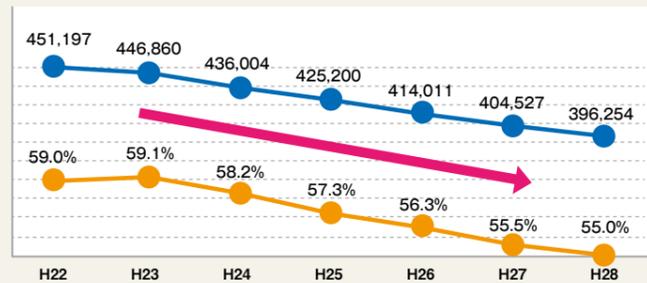
地産外商の強化

チーム つなおい

高知県の現状

高知県の人口は、全国に15年先行して減少が進み、それに伴い**生産活動に従事する年齢層である15～64歳までの生産年齢人口も減少**し続けており^{〔図1〕}、経済規模が縮小傾向にあります。特に1次産業従事者数の減少が著しく、**就業者の割合は35年間で約半分**になっており^{〔図2〕}、農林水産業で発展してきた高知県にとっての課題と言えます。

〔図1〕 高知県における生産年齢人口の減少



出典:第3期高知県産業振興計画(県地産地消・外商課)

〔図2〕 高知県の産業別就業者の割合

1次産業従事者の割合は35年で約半分にまで減少…

構成比	年度	S55	S60	H2	H12	H22	H27
1次産業		21	20	17	13	12	11
2次産業		23	22	23	22	18	17
3次産業		55	58	60	65	70	71
計		100	100	100	100	100	100

単位:%

出典:国勢調査(総務省)

このような現状を解決するため、高知県は、「地産外商が進み、それぞれの地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」を将来像に掲げ、「高知県産業振興計画」を策定し、「地産の強化」と「外商の推進」に取り組み始めました。平成21年に設立された(一財)高知県地産外商公社は、「地産外商」を推進する母体として様々な取組を開始しました。その結果、外商の成約金額が過去5年間で25億円増となりました。

課題

しかし、高知県の地産外商の発展のためには、解決すべき課題がまだ多く存在します。今後も引き続き高知県の地産外商を発展させるために、調査した結果、次の課題が浮かんできました。

- ① 地産外商活動の認知度が未だに低い
- ② 規模が小さく、作るだけで精一杯の生産者・事業者がいる
- ③ 高知県に人を呼びこむための、魅力のPRが足りていない

課題解決のための3つの事業提案

① ② ③ 合計3,000件

1 おまんも外商せんかえ事業

成約件数 400件

事業費	(千円)
項目	金額
事務費	1,700
賃借・使用料	1,700
旅費	5,100
計	8,500

2 高知の食材広めましょ事業

販売件数 1,600件

事業費	(千円)
項目	金額
システム委託費	1,620
運営委託費	10,156
計	11,776

3 土佐と乾杯! いごっそうフェスタ事業

販売件数 1,000件

事業費	(千円)
項目	金額
会場設営費	1,200
企画運営費	5,280
計	6,480

1 「おまんも外商せんかえ」事業 (事業費8,500千円)

今後さらに外商を推し進めていくためには、生産者・事業者ごとに異なったニーズに対応し、**未だ地域に眠っている商品の掘り起こしや、外へ売り出したいでもその方法が分からない生産者・事業者を少しでも多く外商活動へと繋げていくことが必要**です。

そこで、生産者や事業者を他の団体とつなぐ役割や、新たに外商を希望する方の掘り起こしを行う「外商コンシェルジュ」を県内の各市町村に配置します。メンバーは、「チームつなおし」を含めた市町村職員で構成します。外商活動の認知度を高めつつ、新しく外商に取り組む人を増やすことによって、外商数の増加につなげます。

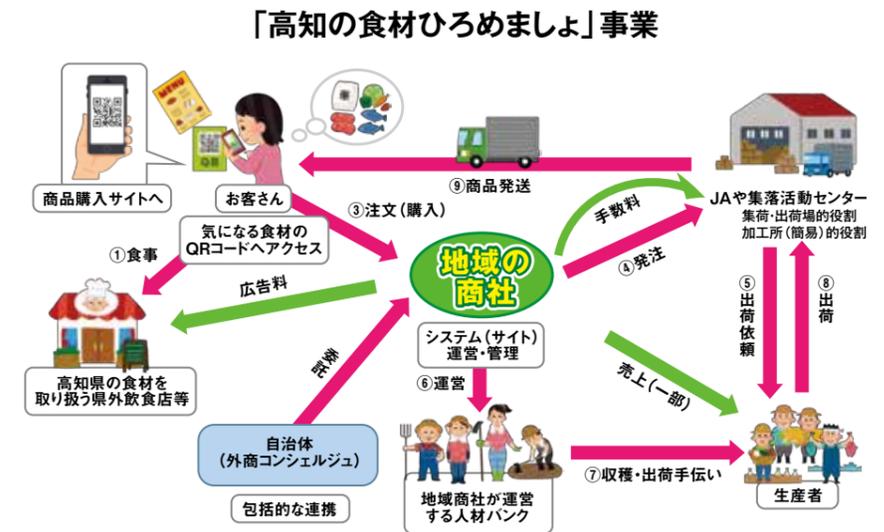
2 「高知の食材ひろめましょ」事業 (事業費11,776千円)

高知県には、質が高くおいしい食べ物がありますが、地理的な条件や「高知」の認知度の低さから、多くの外商のチャンスを逃していると思われます。そこで、県外で高知の食材や商品を取り扱う飲食店に協力してもらい、地産外商に繋がります。

料理に使用している高知の食材について、各店舗のメニューにQRコードを掲載し、今食べている食材や商品が購入できるサイトへ簡単にアクセスできるようにします。お客さんがおいしいと思ったものをすぐに購入できるという仕組みです。

このサイトで、個人の顧客を増やすことにより、多品種少量生産が多い高知県の農業の強みを活かしながら、食材を県外に多く広めて外商活動を活発にすることを目指します。

また、生産者へのインタビュー等から、「生産者は現在の仕事だけで手いっぱい」という現状が判明しました。そこで、地域の商社で人材バンクを立ち上げ、必要に応じて生産者の元へ人材を派遣し、収穫や出荷をサポートする仕組みを提案します。



3 「土佐と乾杯! いごっそうフェスタ」事業 (事業費6,480千円)

お酒と料理を組み合わせ販売し、どの組み合わせが一番おいしいかを競い合うイベント事業です。ただイベントを行うだけでなく、高知の魅力を発信してもらうために、情報発信に優れた有名SNSユーザー・ブロガー等を招待します。また、旅行会社ともタイアップして、県外の観光客を呼び込むツアーを造成します。

これにより、全世界に高知のお酒と料理をPRし、観光客の増加を図るとともに、新たな外商需要を呼び込みます。